



TITLE:

和歌山県白浜町番所山のニホンテン
ン

AUTHOR(S):

久保田, 信

CITATION:

久保田, 信. 和歌山県白浜町番所山のニホンテン. くろしお 2011, 30: 24-25

ISSUE DATE:

2011

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/188228>

RIGHT:

© 南紀生物同好会

和歌山県白浜町番所山のニホンテン

Japanese marten *Martes melampus melampus* at Bansho mountain
in Shirahama town, Wakayama Prefecture, Japan

久保田 信

和歌山県白浜町で深夜に事故死したニホンテン *Martes melampus melampus* の報告はあるが（久保田，1998，2006；細田ほか，1998）、今回、自然に生きるニホンテン複数個体が、和歌山県白浜町の白浜半島の先端に位置する番所山に生息しているので記録する。

番所山への登り口で、2011年6月13日20時40分、日の入りから約1時間後の暗くなった時間帯に、2個体のニホンテンに初めて偶然に遭遇した。その後、翌日早朝のまだ暗い4時40分に、同じ場所に2個体があった（恐らく同じ個体）。1個体の大型の方は著者に近づき、鳴き声を何度も発したが（図1）、それは子供を守る行動と推察され、しばらくすると木に登り、子供をくわえて連れ去った。約1時間後の5時30分に、その場所にニホンテンはいなかったが、その遊歩道路路上に糞と推定されるものが6箇所があり、1箇所はペアで見つかった（図2）。2個体が同じ箇所にしたものと思われる。

翌々日の15日の早朝5時10分と25分にはニホンテンはいなかったが、続く同年6月17日の早朝5時4分に、あたりは少ししらんでいたが、1個体のニホンテンに遭遇した。6月19日の早朝5時35分にはいなかった。2011年6月の昼間に、大雨の日以外は番所山の登り口から臨海北浜に至るすべての遊歩道を調査したが、ニホンテンの姿はなかった。ニホンテンは夜行性なので昼間はでてこないで、夜間から早朝まで活動するものと推察される。



図1 和歌山県白浜町番所山のニホンテン

Martes melampus melampus at Bansho mountain in Shirahama, Wakayama Prefecture, Japan.



図2 和歌山県白浜町番所山のニホンテンの糞

Faces of *Martes melampus melampus* at Bansho mountain in Shirahama, Wakayama Prefecture, Japan.

引用文献

細田徹治・久保田 信・乾風 登. 1998 : ニホンアナグマとニホンテン (食肉目, イタチ科) の交通事故死体. 南紀生物, **40** (2), 177-179.

久保田 信. 2001 : 和歌山県日置川町志原海岸の国道で次々と事故死したホンダタヌキとニホンテン (哺乳類、食肉目). 南紀生物,

40 (1), 135-136.

———. 2006 : 和歌山県白浜町の海岸道路で最近事故死したニホンテン). くろしお, (25), 15.

京都大学フィールド科学教育研究センター
瀬戸臨海実験所
(〒649-2211 西牟婁郡白浜町459)